

様式第16号
風土と歴史を活かして市民の場所を創る (基本方針5)

山野線跡に沿って計画地周辺全体をリニアなつながりの公園的空間として再構成します。南側に大きなテラスと大階段を設け、大口城跡や麓方向を望む場を用意します。大口商店街からのアプローチに面してオープンスペースと正面性のある建築の表情を与えます。



まちづくりの拠点として、新庁舎・ふれあいセンター・スクエア広場・公園の一体的整備 (基本方針5)

新庁舎とふれあいセンターの整備を一体的に捉え、建設地のポテンシャルを高め、さらに周辺市有地まで整備範囲を含めることにより、計画地一帯が市民生活の拠点となることを目指します。

周辺市有地の再編成による市民エリア整備

公園を建設地の南側街区と北側街区に配置し、散在した駐車場を建設地内に集約することで、計画地周辺の歩車混在を最大限回避し市民の安全性を高めます。街路樹・建設地内の植栽と南北の公園がつながり、鉄道記念公園を含めた周辺一帯が緑に囲まれた市民エリアとなる計画です。

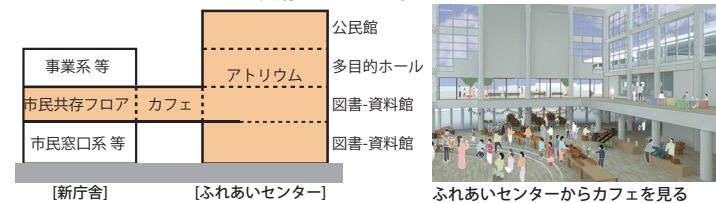
建設地のみ配置	建設地・周辺市有地も含めて再配置
<p>[特徴]</p> <ul style="list-style-type: none">・駐車が散在・公園と駐車が隣接・駐車場・建物の距離が遠い・建設コストは安い	<p>[特徴]</p> <ul style="list-style-type: none">・駐車が集約される・駐車場と建物が隣接・山野線跡沿いに公園と緑道が連続する・建設コストはUP
<p>・公園面積:2800㎡</p> <p>・駐車場台数:250台 (元気こころ館除く)</p>	<p>・公園面積:2800㎡</p> <p>・駐車場台数:244台 (元気こころ館除く)</p>

広場・新庁舎・ふれあいセンターの一体的整備

ふれあいセンターの南面はスクエア広場に対し全開放できるように改修し、新庁舎の1階も含めてスクエア広場と内外が連続する空間として整備します。

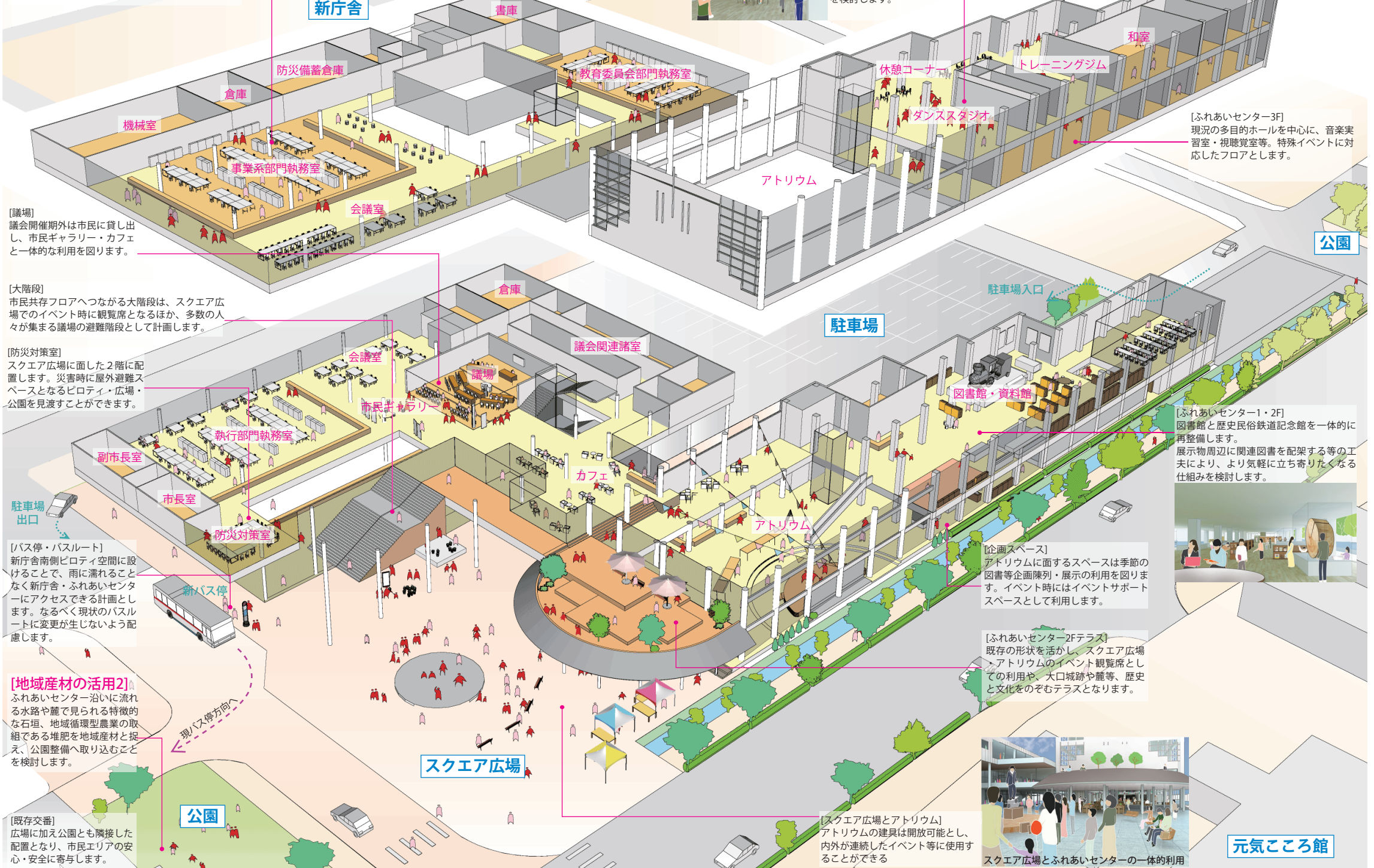
市民共存フロア (新庁舎2階) とふれあいセンターアトリウムとのつながり

本提案では、新庁舎の2階に議場、議会関連諸室、市長を中心とした行政執行部門および市民ギャラリーとカフェを配置し、全ての市民が共存するフロアとなっています。ふれあいセンターの大きなアトリウムはカフェゾーンを介して新庁舎2階の市民共存のフロアとつながるように改修します。



[地域産材の活用1]

伊佐ヒノキ・スギを新庁舎の内装材(天井、軒裏、床等)や家具に積極的に活用することで、地域産業活性化に寄与します。



[議場] 議会開催期外は市民に貸し出し、市民ギャラリー・カフェと一体的な利用を図ります。

[大階段] 市民共存フロアへつながる大階段は、スクエア広場でのイベント時に観覧席となるほか、多数の人々が集まる議場の避難階段として計画します。

[防災対策室] スクエア広場に面した2階に配置します。災害時に屋外避難スペースとなるピロティ・広場・公園を見渡すことができます。

[バス停・バスルート] 新庁舎南側ピロティ空間に設けることで、雨に濡れることなく新庁舎・ふれあいセンターにアクセスできる計画とします。なるべく現状のバスルートに変更が生じないように配慮します。

[地域産材の活用2] ふれあいセンター沿いに流れる水路や麓で見られる特徴的な石垣、地域循環型農業の取組である堆肥を地域産材と捉え、公園整備へ取り込むことを検討します。

[既存交番] 広場に加え公園とも隣接した配置となり、市民エリアの安心・安全に寄与します。

地域を育む庁舎づくり(基本方針5)

地域に愛される庁舎となるよう、市民が庁舎づくりに関われる様々なプログラムをつくりまします。地域の未来を考え、地域で活動する人を増やす機会も提案します。新しくできた庁舎に愛着を持った市民が庁舎を地域活動の拠点として利用することで、地域の賑わいづくりや活性化につなげていきます。

[市民と一緒に取り組むこと]

- ① つくる：庁舎づくりに関わり愛着を深める
- ② 育てる：まちづくりに取り組む人材を育てる

Timeline from 2020 to 2030 showing project phases: 設計者選定 (Designer Selection), 基本設計・実施設計 (Basic Design/Implementation Design), 建設工事 (Construction), 移転 (Relocation), 運用開始: 地域に愛される拠点に (Start of Operation: A base loved by the community).

Activities include: 市民が活用方法を検討 (Citizens discuss usage methods), 活用検討ワークショップ (Usage Study Workshop), 地域と育むランドスケープ (Landscaping with the community), みんなで祝う (Celebrate together), 新庁舎お披露目会 (New City Hall Dedication Event), 市民とお披露目会 (Citizens and Dedication Event), まちづくりに関して学ぶ (Learn about town planning), 地域で活躍する人材育成 (Local talent development), イベントを企画 (Plan events), 勉強会 (Study session), 研修会 (Training session), お披露目作戦会議 (Dedication Strategy Meeting).

Goals: 新しくできた庁舎が地域の拠点となるためには、そこで活動する人が重要。庁舎づくりに並行して、まちづくりの担い手を育成し、完成した庁舎の利用と地域のにぎわいづくりや活性化につなげる。